

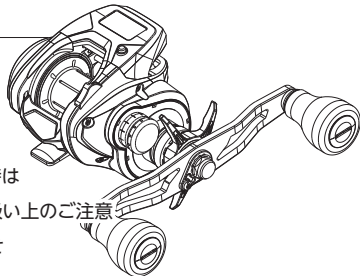
VILAYER DG

取扱説明書

この度はtailwalkリールをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
このリールを正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき
リール同様大切に保管いただきますようお願い申し上げます。

1. 主な機能と特長
2. ご使用前に
3. 各部の名称と機能
4. マグネットブレーキシステムの調整方法
5. 操作方法

6. 機能の説明
7. 便利な機能
8. バッテリーの交換方法
9. 故障かな?と思われる時は
10. お手入れ方法、お取り扱い上のご注意
11. 会社情報・お問い合わせ



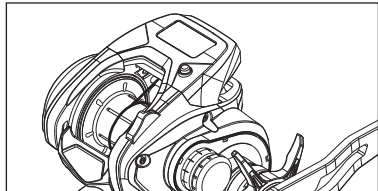
※ 本取り扱い説明書の図はイメージサンプルとなり、製品現物とは異なる場合があります。

1. 主な機能と特長

スプール交換	スプール交換時にカバーを開けて素早く交換可能。
バッテリー(電池)交換	バッテリーキャップを外すことで簡単にバッテリー(電池)が交換できます。
フリッピングレバー	フリッピング機構(クラッチレバーを指で押さえている時のみスプールフリーになり指を離すと巻上可能になる機能)のオン/オフ切替を行います。
ゼロ設定	水面の位置を0mに設定。より正確な棚合わせが可能。
高切れ補正	釣り中に糸が切れた場合、簡単な操作でラインデータの修正を行います。
ステーションナードラグ	ライトゲームの常用域である500~1500g範囲のドラッグテンション幅を大きく確保。スタードラッグが一定のポジションを維持し、安定した調整が可能。
ドラッグクリックサウンド	魚の抵抗でラインが放出される時に軽快なドラッグ音が鳴ります。
棚セット	魚のアタリが多い水深を記録して、仕掛けの再投入の時にアラームで通知。
LEDバックライト	暗い環境でも水深確認が容易なライト機能。
内部調整 マグネットブレーキシステム	フレームとギアサイドカバーの間のマグネットブレーキの調整で、スピールの回転を制御可能。

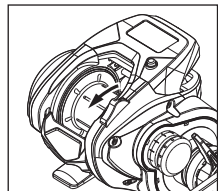
2. ご使用前に

▶ スプールへのラインの結び方



ラインをスプールにしっかりと結び付けてください。
特にPEラインの場合滑りやすいので結び付け方が弱いとスプール底面でラインが滑り、ラインを巻き取れない恐れがありますのでご注意ください。
※ラインを巻く際には、竿に装着しバットガイドに糸を通した状態で巻くことで、スプールへの偏りや外装部品への接触破損を防ぐことができます。

▶ クラッチフリー



⚠ ご注意
根がかりしたままラインに高負荷がかかった状態でクラッチを切る行為は絶対にお止めください。破損の原因となります。

親指でクラッチを下に押し下るとクラッチが切れ、スプールがフリーになります。
※クラッチレバーに指を掛けた状態で(半クラッチ=ピニオンギヤとスピールの噛み合いが浅い)巻き上げたり、高負荷の状態ではクラッチを切ることは、時にスプールギヤ(ピニオンギヤ)の擦り割れ部分を変形させ故障につながる場合がございます。スピールを手前へ引き込む(回転させる)形でクラッチを切るようご注意ください。

3. 各部の名称と機能

デジタルカウンター

カウンター
水深、入力データなどを表示します。

電源スイッチ
電源ON/OFF、0-SET、糸巻データの入力、設定用ボタン。

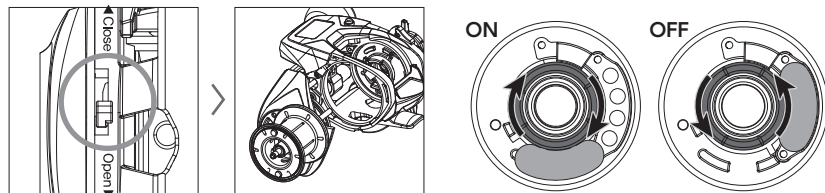
フリッピングレバー
フリッピング機構をON/OFFするスイッチです。

スタードラッグ
魚の引きにあわせて、仕掛けが切れないように巻上テンションを調整します。

クラッチレバー
仕掛けの投入、巻き上げを切り替えます。下に押し下るとOFF、ハンドルの正転でON。
ON: 仕掛けの巻き上げ。
OFF: スプールがフリーになり仕掛けを投入。

テンションノブ
スピールの回転にブレーキをかけ、仕掛け投入のバックラッシュを防止します。

4. マグネットブレーキシステムの調整方法



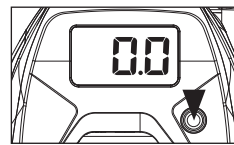
- 1 フレームの後面にあるレバーを「Open」方向にスライドさせてカバーを開き、スピールを外してください。
- 2 マグネットプレートホルダー(赤色の部分)を操作して磁力を調整します。

スピール外径以上にラインが巻かれている場合や、リーダーが結束されている状態ではスピールが外れないことがあります。

5. 操作方法

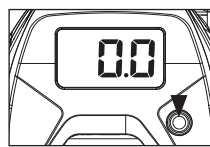
1 電源のON/OFF方法

ON ON/OFFスイッチを2秒以上押す。※ ON: 液晶表示が「0.0」となります。



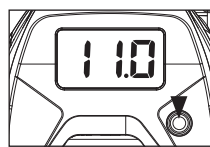
OFF ON/OFFスイッチを8秒以上押す。

▶ カウンターが10m以内の場合



スイッチを押し続けると順に画面が切り替わります。
[OFF]が表示されたタイミングで指を離す

▶ カウンターが10m以上の場合



スイッチを押し続けると順に画面が切り替わります。
[OFF]が表示されたタイミングで指を離す

2 各モードへの操作

短押しで画面を切り替え、目的の画面が表示された状態でボタンを長押しして実行します。

スイッチON >> [00] > [ZEO] (ゼロ設定) > [OPT] (各オプション設定) > [OFF] (電源OFF)

指を離す

短押しで切り替え

[SP1] > [SP2] > [LED] > [BUZ] > [---] > [OUT] > [OFF]

2秒長押し (SP1/SP2) → 2秒長押し (LED) → 2秒長押し (BUZ) → 2秒長押し (OUT) → 2秒長押し (OFF)

スプールモード選択(SP1/SP2) | ライン入力画面 | LED選択 | ライン放出音 | 前の画面へ戻る | 電源OFF

ラインデータを入力したいスプールモードに切り替えてから、ラインデータを入力してください。スプールモードが切り替わると [00] 画面に戻ります。

3 ラインデータの入力方法

- 1 ラインをレベルワインドに通してスピールに結んでください。
電源をONにしてから、スイッチを5秒間押しして[OPT]を選択してください。



- 2 スプールは[SP1][SP2]二つがあります。任意のスプールを選択し、各入力モードへ進んでください。

短押しで切り替え

[SP1] > [SP2] > [LED] > [BUZ] > [---] > [OUT] > [OFF]

任意のスプールを選択し、2秒長押し

短押しで切り替え

[P] > [H] > [OUT]

2秒長押し (P) | 2秒長押し (H) |

選択モードへ | スマートモードへ

各設定方法は裏面へ >>>

P 選択モード 入力されたラインデータを使用する場合

1 [P]画面でスイッチを2秒間押し、巻きたいラインの号数と長さを選択してください。

※このリールには4つのラインデータが入力されています。

PE0.8-400m	PE1.0-300m	PE1.5-200m	PE2.0-140m	
PEライン(号)	PE 0.8	PE 1.0	PE 1.5	PE 2.0
太さの目安(mm)	0.13	0.15	0.18	0.22

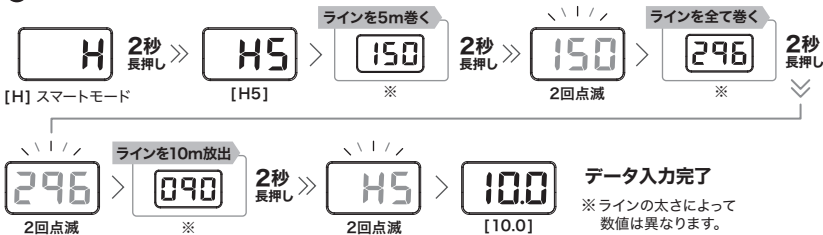


- 2 選択した号数が表示された状態で約500g程度の負荷をかけてラインを巻いてください。巻いた長さが画面上で測定されます。
- 3 ラインを巻き終わったらスイッチを1秒以上押し、カウンターを2回点滅させてください。
- 4 ラインのデータ入力完了します。

※ラインメーカーごとに径が異なるため、指定のm数までスプールに巻けない可能性があります。予めご了承ください。また、径の違いによりカウンター表示と糸の放出にズレが生じることが稀にあります。そのような場合は下記スマート入力でのデータ入力をお勧め致します。

H スマート入力 ラインの太さ(号数)、長さに関係なく利用する場合

- 1 [H]画面でスイッチを2秒間押ししてスマートモードを選択してください。
- 2 ラインを5m巻き、スイッチを1秒以上押し、カウンターが2回点滅します。
- 3 ラインを巻き終わったらスイッチを1秒以上押し、カウンターが2回点滅します。
- 4 ラインを10m放出してスイッチを1秒以上押し、画面に[H5]が2回点滅した後、カウンターに[10m]と表示されます。
- 5 ラインのデータ入力完了します。



E1- [E1] ライン測定不能エラー
2秒以上スイッチを押したときに何らかの理由で設定が失敗した場合、画面に[E1]と表示されます。恐れ入りますが、ボタンを押してスプール選択モードに戻り、再度入力を行ってください。

5m/10m 巻き取り及び放出時のご注意
表示されている数字は巻き取り(放出)中のラインの長さではありません。巻き取り(放出)時は直接ラインマーカを見てカウントをおこなってください。マーカがないラインを使用する場合はメジャーなどで計測をしてください。

6. 機能の説明

1 ゼロ設定 [ZEO]
ラインが10m以内放出された場合のみ使用可能です。
スイッチを3秒以上押し

2 高切れ補正 [CUT]
ラインが10m以上放出された場合のみ使用可能です。
スイッチを3秒以上押し

3 棚セット [DEP]
ラインが10m以上放出された場合のみ使用可能です。
スイッチを5秒以上押し

4 ライン放出音 [BUZ]
ライン放出時10mごとにアラームが鳴ります。

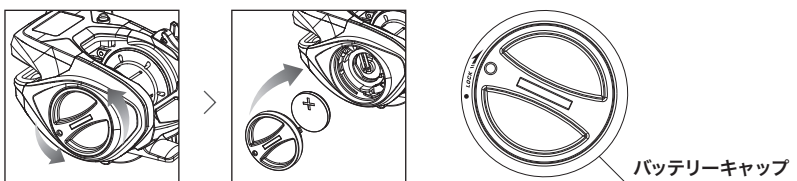
5 LED選択 [LED]

AT [AT]	スピールの回転が10秒間検知されない場合にバックライトがOFFになります。(スピールの回転でLEDがONになります。)
ON [ON]	スピールの回転が10分間検知されない場合にバックライトがOFFになります。(スピールの回転でLEDがONになります。)
OFF [OFF]	バックライトがOFFに設定されます。

7. 便利な機能

- 1 船ベリアラーム
カウンターの表示が5mから1mごとにアラームが鳴ります。
- 2 カウンター(液晶)表示OFF
本体を操作せず1時間経過すると自動で液晶表示がOFFになります(カウントは0に戻ります。)

8. バッテリーの交換方法



- 1 「Lock」の反対側にキャップを回す(クリック音が鳴るまで回してください)。
- 2 バッテリー(CR2032)を取り外し交換します。この際に+/-の位置を間違えないようにしてください。
- 3 「Lock」方向にキャップを回して閉じてください。

※バッテリーの交換は本製品の水気を拭き取り、水気のない場所で行ってください。

9. 故障かな?と思われたときは

故障かな?と思われた時、下記の内容をご確認ください。
下記の確認、対処をおこなっても正常に作動しない場合、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。故障内容、症状はできるだけ詳しくお知らせください。

症状	予想される原因	対処方法
カウンターが表示しない	電池が切れている	電池の交換
液晶画面が勝手に消える	電池の残量が少ない 自動OFF機能の確認	電池の交換
「CHA」点滅	電池残量が少ない	電池の交換
水深表示に誤差が出る	ライン入力が正しくされていない	ラインデータ入力を再度行う

10. お手入れ方法、お取り扱い上のご注意

▶ リールのお手入れ方法

※使用後の放置は腐食による性能低下の原因となります。

⚠️ ご注意

- 洗剤は中性洗剤を使用してください。
- 水に浸けて洗うことは、お止めください。
- 高温・高湿の状態では長時間放置されると、変形や品質が低下するおそれがあります。
- 洗浄後は風通しの良い高温・高湿のない場所に保管してください。
- ドラグ部分には絶対にオイルなどを注油しないでください。ドラグのパワーが低下したり、動作不良の原因となります。
- 専用防錆剤や潤滑油を使用してください。用途の異なる防錆剤や潤滑油を使用すると故障の原因となる場合があります。

▶ リール本体について

- スプールをリールから外した状態で、できるだけハンドルを回さないでください。ギア損傷の原因となります。
- スプールの外径や、フレームとスプールの隙間にオイルやグリースが付着しないように注意してください。(図1参照)油膜が発生すると、スピールの回転が妨げられる可能性があります。
- 最低推奨ラインよりも細いラインを使用すると、糸巻きの片寄りやバックラッシュなどによりスピールの隙間にラインの挟みが発生することがあります。細いラインをご使用の時にはご注意ください。
- スプール外径以上にラインが巻かれている場合や、リーダーが結束されている状態ではスプールが外れないことがあります。
- PEライン専用スプールとなっているため、ナイロンやフロロなどPE以外のラインは使用しないようご注意ください。ラインの収縮によりスプールが変形する恐れがあります。
- 根掛かりした時には、竿やリールで無理にあおらないでください。布などで、手を保護してラインをつかんで切るようにしてください。
- 落下などによる強い衝撃を与えないでください。
- ロッドポストなどに掛けておく場合は、リールが衝撃を受けないように注意してください。
- クラッチレバーが完全にONになっていない状態(ハーフクラッチ)でハンドルを回さないでください。クラッチやストッパーの損傷が発生する可能性があります。
- 偏光メガネの種類によってカウンターの液晶部分が見えにくい場合があります。
- カウンター表示は表面温度が-10度以下および60度以上の場合、液晶の特性上文字が見えにくい場合があります。
- 電池残量が少なくなるとカウンターに[CHA]が点滅します。

▶ その他

- ラインの種類やメーカーによる伸縮差などでカウンターに多少のズレが生じることがあります。
- レベルワインドと本体の間に指を挟まないように注意してください。
- 夏期もしくは冬期の車内など温度変化の激しい環境で保管する場合はご注意ください。
- 不意なトラブルによって顔(特に目)を傷つけないために、釣行時は保護メガネやサングラスの着用をお勧めします。

11. 会社情報・お問い合わせ

お電話でのお問い合わせ

0120-33-8451

8:30~12:00 / 13:00~17:30 (土日・祝日・年末年始を除く)

パーツ及び修理につきましては、お買い上げの釣具店もしくは全国主要釣具店または下記宛にお問い合わせください。
なお修理は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。



VILAYER DG
製品ページ

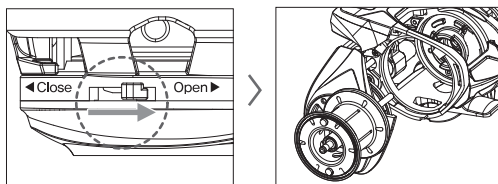


株式会社 **エイテック**

〒173-0012 東京都板橋区大和町42-11

TEL:03-3963-8451 FAX:03-3963-0776 HP:https://atec.fishing/

スプール交換方法

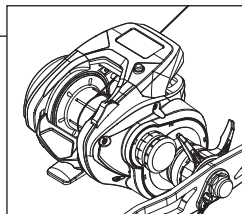


フレームの後面にあるレバーを「Open」方向にスライドさせてカバーを開き、スプールを外してください。

スプール外径以上にラインが巻かれている場合や、リーダーが結束されている状態ではスプールが外れないことがあります。

ラインデータの入力と呼び出し

- ① ラインをレベルwindに通してスプールに結んでください。
電源を入れ、スイッチを長押しして【OPT】が表示されたタイミングで指を離してください。



- ② スプールは【SP1】【SP2】二つがあります。任意のスプールを選択し、各入力モードへ進んでください。



SP1 SP2 現在選択中のスプールに応じて 上書き入力 データ呼び出し に切り替わります

上書き入力 選択中 SP2 SP2 選択中 SP1 SP1
本体に選択されているスプールを再度選択

各入力モードに入ります。
この場合、ラインデータの上書きになりますので、ご注意ください。



誤った画面に入ってしまった場合は【OUT】から戻ることが可能です

データ呼び出し 選択中 SP1 SP2 選択中 SP2 SP1
本体選択中とは異なるスプールを選択

▶ ラインデータが入力されている場合
電源ON画面(ゾロ目カウントアップ)後に、『0.0』表示になります。

▶ ラインデータが入力されていない場合
デモモード画面(ゾロ目)になります。

このリールには4つのラインデータが入力されています。

PE0.8-400m PE1.0-300m PE1.5-200m PE2.0-140m

PEライン(号)	PE 0.8	PE 1.0	PE 1.5	PE 2.0
太さの目安(mm)	0.13	0.15	0.18	0.22

各モードのライン入力方法はVILAYER DG 本体取扱説明書をご参照ください

- ※スプールの番号とラインデータの情報は、メモを残すなどで記録しておいてください。
- ※ラインデータは、SP1/SP2の2種類のみ記憶できます。
- ※3種類以上の異なるデータ入力は出来ません(SP1/SP2のいずれかのデータに上書きする事になります)

VILAYER DG
製品ページ

